

## 顕現後第3主日特祷

限りなくいます全能の神、天においても地においても万物を支配しておられる主よ、どうか慈しみをもって主の民の願いを聞き入れ、主による平安をこの時代にお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書 ネヘミヤ記 8章 2-10 節

2 祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。3 彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かって、夜明けから正午までそれを読み上げた。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。

4 書記官エズラは、このために用意された木の壇の上に立ち、その右にマティトヤ、シエマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが、左にペダヤ、ミシャエル、マルキヤ、ハシュム、ハシュバダナ、ゼカルヤ、メシュラムが立った。5 エズラは人々より高い所にいたので、皆が見守る中でその書を開いた。彼が書を開くと民は皆、立ち上がった。6 エズラが大いなる神、主をたたえると民は皆、両手を挙げて、「アーメン、アーメン」と唱和し、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。7 次いで、イエシュア、バニ、シェレブヤ、ヤミン、アクブ、シャベタイ、ホディヤ、マアセヤ、ケリタ、アザルヤ、ヨザバド、ハナン、ペラヤというレビ人がその律法を民に説明したが、その間民は立っていた。8 彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。9 総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。10 彼らは更に言った。「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えのない者には、それを分け与えてやりなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」

## 詩 編 第19編 1-11 節

- 1 天は神の栄光を語り // 大空はみ手の業を告げる
- 2 日は日に言葉を語り継ぎ // 夜は夜に知識を伝える
- 3 言葉でもなく、話でもなく // その声も聞こえないが
- 4 その響きは地を覆い、その言葉は世界の果てに及ぶ // 神は海に太陽の幕屋を据えられた
- 5 太陽は花婿のように住まいを出て // 勇士のようにその道を喜び走る
- 6 天の果てから姿を現し、その果てまで巡り行き // その熱から隠れ得るものはない
- 7 主の教えは完全で、魂を生き返らせ // 主の論しは変わらず、心に知恵を与える
- 8 主の定めは正しく、心を喜ばせ // 主のみ旨は清く、目を開く
- 9 主の言葉は混じりけなくとこしえに続き // 主の審きは真実ですべて正しい
- 10 金よりもどんな純金よりもすばらしく // 蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い

11 あなたの僕はこれに教えられ // それを守って大きな報いを受ける

### 使徒書 コリントの信徒への手紙一 12章 12-27 節

12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。 13 つまり、一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。 14 体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。 15 足が、「わたしは手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。 16 耳が、「わたしは目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。 17 もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこでにおいをかぎますか。 18 そこで神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。 19 すべてが一つの部分になってしまったら、どこに体というものがあるでしょう。 20 だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。 21 目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。 22 それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。 23 わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとし、見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいっそう引き立たせて、体を組み立てられました。 25 それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。 26 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

27 あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。

### 福音書 ルカによる福音書 4章 14-21 節

14 イエスは“霊”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。 15 イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。

16 イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。 17 預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある箇所が目にとまった。 18 「主の霊がわたしの上におられる。

貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、 19 主の恵みの年を告げるためである。」

20 イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。 21 そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。